

——北パラナ入植100年記念——

日本移民の汗と涙がやっと花開いた

日本人なくして北パラナの開拓はなかった

2015 **10/24** 日 ~ **12/23** 水 祝 **入場無料**

海外移住と文化の交流センター 1階特別展示場

開場:午前10時~午後5時(入場は午後4時30分まで) 休館日:月曜日(祝日の場合は翌日)

一攫千金を夢見てブラジルへ渡った日本移民。当初サンパウロ州では、仕事が過酷で、住む環境も劣悪、コーヒー樹も老朽化、粗悪なコーヒーで販売できず、賃金も不払い。耕地から逃げ出し、米作りを試みればマラリアと、苦勞の連続だった



北パラナで日本人が所有した最初の自動車、24年型フォードに乗る上野米蔵。手前がのちに連邦下院議員になり日伯交流に尽くした長男の上野アントニオ義雄(1924年頃)



第1回笠戸丸移民から5年後、サンパウロ州から川を渡り、西隣のパラナ州北部の開拓に挑んだ日本移民。それが日本移民の運命を変えました。肥沃な大地に恵まれた北パラナの赤い大地。無肥料でも良質のコーヒーがサンパウロ州の何倍も採れた。北パラナで日本移民の汗と涙は大きく花開いたのです。



北パラナの赤土はコーヒー栽培に最適!

北パラナ日本移民の大恩人、氏原彦馬。英国資本の北パラナ土地会社の日本人部に招かれ、33か所の日本人集団地を作った。日本移民の独立農への道を支えた(1940年頃)



展示内容

- 第1章 パラナ州を元気にしてきた日系人
- 第2章 なぜ、日本人は北パラナを目指したのか
- 第3章 次々と成功していった日本人入植地
- 第4章 イギリス人が開発し日本人が開拓したロンドリーナ
- 第5章 南パラナの中心クリチーバにも日本人が移住
- 第6章 ブラジル・パラナ州ってどんなところ?
- 第7章 兵庫県とパラナ州——友好提携45周年

主催:一般財団法人 日伯協会、神戸市

日ブラジル外交関係樹立120周年記念外務省認定事業 認定番号N0051

NIPPAKU Since 1926

一般財団法人 日伯協会 Associação Nipo-Brasileira
〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8 海外移住と文化の交流センター2階
電話・ファックス 078-230-2891 E-mail info@nippaku-k.or.jp
URL http://www.nippaku-k.or.jp

海外移住と文化の交流センター



- 電車:JR・阪神電車「元町」東口より鯉川筋を北へ徒歩15分
- 神戸市営地下鉄「県庁前」より、徒歩10分
- 神戸市営バス:「三宮駅前」または、「元町駅前」から⑦系統に乗車「山本通3丁目」下車北西へ徒歩3分または「山本通4丁目」下車、東へ徒歩3分
- *お車の方は、当センター北側の有料駐車場をご利用ください。